

挙式当日の失敗は一生の失敗

当日失敗しない 新郎マニキュア



新婦のドレスの 裾を踏まない 方法



新婦のドレスを踏まない方法

当日の失敗で最も多いのが、新婦のドレスの裾を踏んでしまう事です。
普段のお洋服とは比べ物にならないほど、ボリュームがあったり、裾が長いので、
隣で腕を組んで歩くと、どうしても踏んでしまいます。
常に腕を組んでいるので、新婦が転倒してしまうという事はあまりありませんが、
ドレスが破損し、そのまま式を続行しなければいけなかったり、あとで高額の請求があるという事も。

ポイントは、新婦の半歩先を歩くという事。
見た目も半歩先を歩いてくれることによって、エスコートしている感じが出て
頼もしく見えますし、劇的にドレスの裾を踏みにくくなります。

さらにすり足で歩く事です。
バージンロードをしっかりと素敵に歩こうと思って、胸を張り、前を見て、膝を極端に上げて歩く新郎が
結構多いのですが、見ていて不自然で、緊張している感じが満載で苦笑が起こることも...。
すり足を意識して歩けば、ドレスの裾を踏みにくく、さらに素敵に歩くことができます。

披露宴では
飲みすぎない、



披露宴では飲みすぎない

結婚式を経験した人からは、想像以上に楽しかったとよく聞きます。
一生において、自分が主役になり、こんなにも豪華なパーティーを開く事は多々ありません。

だからこそ、飲みすぎてしまう人が続出です。
楽しくてついつい飲みすぎてしまったり、友人に勧められて、その場のノリで飲んでしまったり...

ただ、その後に待っているのは、悲惨な光景です。
新郎挨拶はグダグダで何を言っているか分からない、
新婦をエスコートするどころかエスコートされながら退場する、
体調が悪くなり、途中で退席する...まだ聞きたいですか？

お酒はたしなむ程度。

最後に結婚式が一番の大仕事、新郎挨拶が待っていることをお忘れなく！

挨拶は
事前に準備
しておく



挨拶は事前に準備しておく

最後の締めになることが多い、新郎挨拶。
「事前に紙に書いておいて、そのメモを読みながら話すのってカッコ悪いよね」
と、事前に準備しない新郎の多い事、多い事。
そのため上手くまとめられず、グダグダのダラダラで結婚式が締まらなかった、なんて場面はよく見ます。

突然スピーチを求められ、突然話し始める、
ヒーローインタビューのような場面に出くわしたことがある人はほとんどいません。
多くの人が、スピーチに慣れていないんです。
そんな中、「当日、その場で思ったことを言おう」なんて、うまく行くわけがありません。
メモを見ながら読む方がよっぽどマシです。

どうしてもメモを見るのがイヤなら、事前に考えたスピーチを丸暗記、
そして、緊張でスピーチが飛んでしまった!という、もしもの時の為に
ポケットにカンペを忍ばせておくことをお勧めします。

挙式当日の失敗は一生の失敗

そうなんです。
結婚式での失敗は、
良くも悪くも
一生の思い出になります。
出来れば
良い思い出だけ残したいですね。



BOTTONE